



『寛容論』中にある、神様からの応答は、私たちをより謙虚にさせる言葉なので、一部抜粋してご紹介します。

>>お前たちは力弱きものなのだから、お互いに助け合わねばならぬ。お前たち  
>>は無知なのだから、お互いの知識を持ち寄り、お互いに許し合わねばならぬ。  
>>...たった一人の者が見解を異にしたとしても、お前たちはこの者を大目に  
>>見なければならぬ。なぜなら、この者にそのようにかんがえさせているの  
>>は、ほかならぬこの私である。

>>お前たちがまったく軽率なきっかけで始めた残酷な戦争のまっただなかで、  
>>この過ちと危険と不幸とのいつ終わるとも知らぬ舞台のまっただなかで、  
>>お前たちの行いにもかかわらずお前たちが相互に必要であることによって、  
>>お前たちを一つに結び合わせているのは、ひとえにわが業なのだ。

ぜひ思い返してください。この文章で心に寛容を持つのはあなただけではありません、目の前の「相手」も同じように感じているということ。

春まじかで、これから多くの異文化と接する企業の皆さまに贈ります。

┌

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

└

(1)《globalforce circle セミナー》のご案内

-----  
次回以降のセミナーは、

第 16 回 2019. 4.18(木) 14:00～16:00

第 17 回 2019. 7.18(木) 14:00～16:00

第 18 回 2019.10.24(木) 14:00～16:00

を予定しています。

ご案内は適宜して参りますので、予定の確保をお願いします。

皆さまからの、お問い合わせをお待ちしております。



- 
- \*\*\*\* 異文化コミュニケーション研究所(R) \*\*\*\*
  - ~ 日本を世界中の優秀な人財が活躍する国にする ~
  - 
  - 企業の生き残り・革新のために、『人財の多様性』は不可欠です。
  - 
  - 弊社は、白羽の矢を立てるべきは「外国人留学生」だと考えます。
  - 日本語が使える、日本文化に造詣がある「優秀な留学生」が日本には
  - たくさんいます。そして、彼らは日本で働きたいと思っています。
  - 
  - 多様な異文化視点を持つ globalforce(高度外国人財)を活用する
  - ことで、「新たな価値の創造」につなげることができます。
  - "globalforce"は企業にとって貴重な人財です。
  - 
  - しかし、多様性を受け入れることはチャレンジングなことです。
  - 一筋縄ではいかない。障害物競走のように、いくつもハードルを超
  - えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで
  - 企業のチャレンジをお手伝い致します。

---

※本メールは、当研究所関係者と名刺交換をさせて頂いた方、  
セミナー等にご参加頂いた方々等、ご縁を頂いた方々にお送り  
致しております。 いつもありがとうございます。

---

「」「」 異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)  
「」「」 <http://www.globalforce.link>  
「」「」 横浜市神奈川区青木町 3-15 SS ビル 201 号室  
「」 Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577  
「」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

---

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)